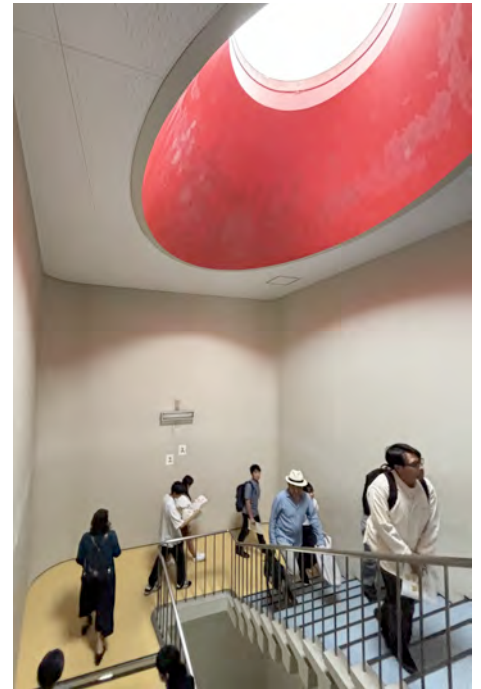


Workshop Report

鳴門市健康福祉交流センター改修工事設計 ワークショップ

最初に参加者みんなで
建物を見学しました



設計者から設計主旨を説明中！

最後に参加者みんなで集合写真！

泉市長に駆けつけて頂きました
文化会館と一体のエリアであり
鳴門市にとって大切な場所です。
皆様の声をしっかり伺い、進め
て参りますのでご意見を宜しく
おねがいします。



第1回 市民ワークショップ

開催日時 2024年9月29日（日）13時30分から16時

開催場所 鳴門市役所2階201会議室

参加者 鳴門市民の皆様13名 市役所関係者の皆様

市民ワークショップでは、参加者皆様に先ず健康福祉交流センターへ集合頂き、既存建物の見学を行い実際に空間を体験してもらいました。その後、市庁舎会議室へ移動し、設計主旨やワークショップの目的を共有した後、3つのグループにわかれて、2つのテーマについて意見交換と議論を展開しました。

ワークショップのテーマ

テーマ① 健康福祉交流センター（ふれあい健康館）はどんな施設や雰囲気になったらいい？

ここでどのような活動をしたい？

テーマ② 文化会館を含めた、このエリア全体（親水公園エリア）がどんな雰囲気になったらいい？

最後に各グループごとに、そこで出された様々な意見や議論の様子について発表することで、参加者全体のやりとりをみんなで共有し、ワークショップを閉会しました。



子育てに関する皆様は
はじめ、日々感じられてい
ることを中心に、様々な
意見が出ました。



A group

安全を考えて年齢別に分けた
遊びスペースがほしい

本が読めたり飲食ができる
スペースがほしい

ベビーカー置場を充
実してほしい

授乳室、ロッカー室など
充実させて欲しい

共用エリアは無料のWifi、
充電コンセントも必要

ハード面(施設整備)

多目的トイレが
多いと便利

おむつ交換や、哺乳瓶での授乳スペースが
男性でも使いやすいように検討して欲しい

会議する場所も欲しい
(15人程度)

本の読み聞かせをする
場所が欲しい

お母さん同士や、相談出来る方と
ゆっくり話ができる場所が欲しい



テーマ①②

乳幼児のお風呂の練習など
はじめての子育てをサポートして欲しい

ソフト面(運用)

来たらすぐ遊べる、兄弟で遊べる、
友達と遊べる、など気軽に利用でき
るようにして欲しい！

お母さんの癒しの場所、息抜
きの場所、日頃のストレスを
開放できるサポートも必要

世代を超えたさまざまな使い方
20年後も残る施設づくりは大切！

ZOOMやデジタルコンテンツを使った外部との
コミュニケーションを考えてもいいかも



部屋の中が見えない、
使っているのかわからない

くらいよね

子供はどこでも走るので、
今の施設では事故が心配

もっと近寄りやすい施設にしたい！

今の施設の課題

親みやすい建物にしたい！

エレベーターの位置がわかりにくい.....





たくさんの意見が出ましたが、個々に深く議論するには至りませんでした。そのため、例えば「子育て」などテーマを絞った、より深い議論の必要性を感じました。



B group

休みの日、雨の日、暑い日に
遊ぶ場所がないので欲しい！

人がここに来る、
仕掛けやイベントが欲しい

こどもフェスやイベント
とかやって欲しい！

DIYコーナーがあるといいな！
3Dプリンターも！

テーマ①

子育て応援団レインボーでは、クリスマス
会や食事イベントなどをやっています

ファミサポさん、レインボーさんは
3階でも良いのでは？

3階に中高生、来てくれるかなあ.....
アクセスし難いと思う.....

親水空間、噴水とか是非欲しい！

こどもも、市民団体も、
外を有効活用できるといい

テーマ②

スケボー禁止ってなんで？

ぶつかると危ないのと、
床タイルが割れるからかな？

(他の建物で)
湿気がひどい.....

増田建築の印象1 (愛情を込めて本音)

くらい、こわい、
おどろおどろしい.....

(この建物で)
水漏れがひどい.....

中に入りにくく、
とっつきにくい。
暗くて入りにくい.....

文化会館と健康福祉センターの南北両側から
自由にアプローチできると良い

両方の建物をむすぶ、2階ブリッジが
あると便利。災害時にも有効に使える。

東京で学生だった時に文化会館ができて、
「鳴門にこんな凄い建築が出来るんだ！」
と感動したのをよく覚えています。

増田建築の印象2 (感動的な意見)

このエリアの建物は現代的ですごい。
鳴門の街にはじめて来た印象は、すごく穏やかで綺麗。

空が広い！
(東京から移住してきた方)

鳴門の街の印象

四国はじめてで
鳴門に最初に来ました！
畑や山の景色が素敵！

コンクリートのルーバー
を撤去して明るくしたい！

ルーバーは、建物の保存を
考えたらそのままがいい！

施設の今の印象

イベントが終わったらすぐに帰っちゃう

イベントのある時だけ来る場所
遊ぶ場所ではないかな.....

「ここいこか？」普段はならない



今のままだと、
このエリアには
来ないかな.....

徳島木のおもちゃ博物館

子供と遊びに行く所

吉野川ハイウェイオアシス
「すくすくの森」

おきのすいנדアパーク
パレットが楽しい！

こどもひとりワンコイン程度であそべる
価格であれば安心して利用できる



C group

必要と考える機能や場所について、たくさん意見が出たので順番にお話しします！会議室の必要性や、子どもたちの居場所についても議題になりました。



時間ごとに利用する世代が異なる
時間別の施設の有効活用の検討も大切

部屋をもっと明るく！

ゆったり過ごせる場所が欲しい！

テーマ①

中央の通路（歩廊）の有効活用賛成！
まわりに住む人の利用も多いと思う

お母さん達がベビーカーで来て
ちょっと立ち止まって
話せるようなところが欲しい
ベビーカーが通れるよう
広いスペースとレイアウトは大切

中庭と連続性のある入口にして欲しい
なかでお弁当を食べようとは思わない

子供のための施設だけど
昼間はおじいちゃん、おばあちゃんが
来れるようにしてもいいよね～

入口が暗くて入りにくい

他世代交流（おもちゃの修理屋さんや、
職業体験イベントなど）が出来たら楽しい

車から荷物を運ぶのには遠
すぎる.....搬入の時に建物
の前につけられるけど、子
供たちの安全面が心配

車が入ってくるエリアを分け、安全管理を
しっかりできれば、子供達も遊べるね

既存の外部トイレまわりの
活用を考えるのもとても大切

テーマ②

散歩している人はたくさんいる

このエリアを一体的に考えて欲しい
とってもいい場所だから！

徳島ひょうたん島からの
周遊船の発着場をつくるのは！？

ドローンを飛ばせる空間が欲しい

カッターボートの練習場や競技場
として活用するのも面白いかも！

木陰が無いと居にくい

貸室が足りてない！
ボートレース場や庁舎会議室は借り辛い。
（文化会館も.....）

部屋は小さく分けられた方が便利

会議スペースについて

みんなが集まれる場所は残したい！
100人くらい集まることも！

小さい会議室がないと困る（10人
程度）。大会議室（集会室）は貸出
頻度が高いので他にも欲しい。

家で勉強に集中できないとか、
そういう子が居られるスペースが
あるのは良いのでは？（夜は特に）

勉強スペース+飲食店があれば来るかも.....

中高生が来るには？

中高生が来るには遠いかも.....
アクセスしにくいと、平日は
誰も来なくなるよね

飲食店がないから、お腹が空くと
マックとか行っちゃうよね



ファシリテーター（設計事務所）より

鳴門市健康福祉交流センターは、未来の「子育て施設」を目指し、いま新たなスタートを切りました。改修設計では、施設やエリアの優れた特徴や皆様の思いを最大限に活かすため、広く市民皆様のご意見を直接伺う場を設けたいと考え、ワークショップを開催致しました。おかげさまで皆様からは、本当にたくさんのご意見を頂くことが出来ました。転じて、その溢れ出るようなご意見や対話から、より具体的な検討を進めるのと同時に、個別ヒアリングの必要性を強く認識しました。ワークショップを通じて、継続して皆様と一緒に鳴門の未来を考え、真摯にその内容を検討しつつ設計に活かして参ります。次回もどうぞ宜しくお願い致します。

事務局より

様々な方にご参加をいただき、第1回ワークショップを開催できましたことを嬉しく思っています。初めてのワークショップとなりましたが、参加者の皆様から、日々感じている率直な思いや、改修後の施設に欲しい機能、設備についてなど、活発なご意見をいただくことができました。ご参加いただいた皆様のご意見を参考にさせていただき、健康福祉交流センターを中心とした周辺エリア一体が、皆様が気軽に利用できるエリアとなるよう検討を進めてまいります。

Workshop Report

鳴門市健康福祉交流センター改修工事設計 ワークショップ

学生たちがワークショップを
サポートしてくれました！



前日に小学校 WS を行い
その振り返りをしました。



第2回 市民ワークショップ

開催日時 2025年3月15日(土) 13時30分から16時
開催場所 鳴門市役所2階 会議室
参加者 鳴門市民の皆様13名 市役所関係者の皆様

第2回のワークショップは、前日に開催した林崎小学校ワークショップにて、「みらいのあそびば」を考えたり、からだを動かしたりしたことを共有したのち、第1回で頂いた様々な意見がどのように設計に反映されたか、また何故反映できなかったのかを、頂いたコメントと検討中の図面をもとに、設計者から説明を行いました。

その上で、これから文化会館を含めた施設運営者公募が開始されるため、運営についての意見や議論を行うことをテーマとしました。

ワークショップのテーマ

テーマ① 子育て施設として、個々で全体を通じて、充実させたい機能や催しなど、ご意見をください。

テーマ② 文化会館との機能との運営の連携を検討しています。この連携に期待することを教えてください。

最後に各グループごとに、そこで出された様々な意見や議論の様子について発表することで、参加者全体のやりとりをみんなで共有し、ワークショップを閉会しました。

A group



テーマ①

- ・開館時間は現状平日の朝から夕方まで。土日也使え、平日も21時など遅い時間まで使えと嬉しい。
- ・空間に余白を作ること、こどもたちの自主性を育みたい。
- ・想像力が掻き立てられるような場所づくりをしてほしい。
- ・小さなこどもを連れてきた時の、お昼やおやつを食べるためのスペースが欲しい。
- ・飲食スペース、理想はカフェスペース欲しい。
- ・さまざまな事情を持つ家庭を受け入れるためにも、1階のあそびばは無料にしてほしい。

テーマ②

- ・こども達の吹奏楽や合唱コンクール時、楽屋や練習室になるような運営を期待したい。
- ・特定のグループが占有してしまわないように、施設の運営を気をつけてほしい。

子育て関連

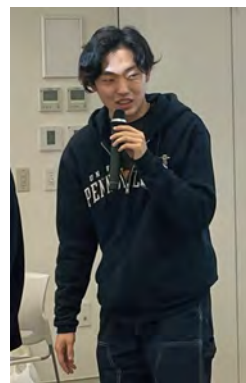
- ・ファミサポのスペースが今のままでは狭い。子育てグッズのリユース・リサイクルショップがあると便利。
- ・子育ての情報を共有できる場所、ネットワークに参加できる場所、自分に適したコミュニティにアクセスできる場所と機会に巡り合える施設運営ができると嬉しい。
- ・健康福祉交流センターを通じて、沢山の人が地域の子育てに参加できる場所づくりができると理想だと思います。



B group

テーマ①

- ・ 1 階のあそびば空間を「がらんどう」にするのであれば、多様な用途で使える空間にしておくのもあるのでは。
- ・ 鳴門市内に雨天時でも遊べる屋内遊び場がない なので楽しい施設を期待しています。
- ・ あすたむらんの「木の美術館」は良い施設なのだが遠い。気軽に遊べる市内遊び場として整備してほしい。
- ・ 図書館の分館、移動図書館、図書コーナーがあるとすごくうれしい。

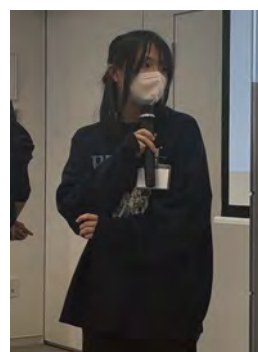


テーマ②

- ・ 不登校、登校拒否の子どもたちや家族のサポートも大切。
- ・ ボランティアの積極的な活用、支援団体との協力体制も必要。
- ・ ファミサポの事務所で子どもさんの預かりサポートをしているので、もう少しスペースが欲しい。
- ・ 小さい子と大きい子の兄弟の親子に対応した運営やスペースづくりも必要。
- ・ 水場もしっかり整備してほしい

中高生にも使ってもらいたい！

- ・ 鳴門駅近くには集まって勉強できるスペースがない。
- ・ 中高生の溜まり場としての場と、静かに自習ができるスペースが欲しい。
- ・ 鳴門教育大の皆さんや、大学生の出前授業みたいな運営があると刺激的！
- ・ 自転車で来ると思うので自転車置き場が欲しい。



C group

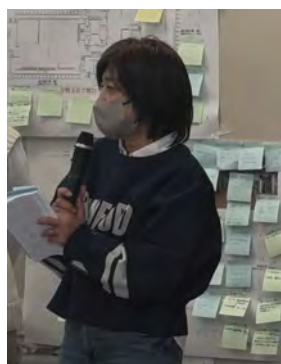
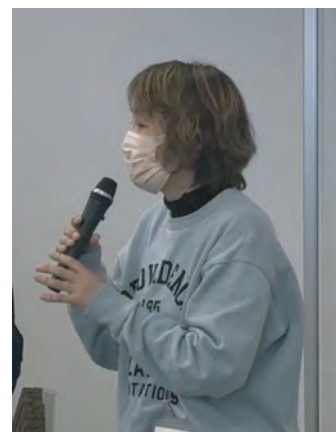
テーマ①

- ・「子育て中心の施設」は賛成。だけど、合唱やコーラス阿波踊りの練習など今までもたくさんの利用があったのこどもだけに特化されると
- ・小さくても良いので、図書館機能があると嬉しい。
- ・飲食できる場所は やっぱり欲しい
- ・遊び場とは別でもいいけど、エリアの中には欲しい。
- ・真ん中の歩廊は、おしゃれな感じにできると良い。
夕暮れマーケットみたいに人が集まる空間！



テーマ②

- ・文化会館には是非飲食スペースを希望！中高生の居場所は文化会館を含めて検討。
- ・こどもの遊び場（動）は、内部の活気ある様子がわかると外からも入りやすいし、寄り付きやすい。
- ・こどもたちがたくさんいる環境ならば、相談にいくハードルは下がる。
- ・外の空間につながるような、空間や機能のしかけがほしい



全館上足に対する意見

- ・避難所機能を持たせたいため上足。室内の清潔な衛生環境を保ちたい。
- ・入口すぐの履き替えは小さなこどもをつれの親は大変。
- ・集会室は使う人が上履き、履き替え対応でこれまでのように運用できるのではないかな。



設計事務所より

ワークショップに際し、京都大学と慶應大学の学生さん、前回一般市民としてご参加いただいた鳴門教育大学の学生さんにはサポートスタッフとしてご参加いただき、子育て施設運営に対する20代前半の声を直接聞く機会も設けました。

第2回では、よりテーマを絞った、子育て施設の運営や在り方についてなど、深い意見や議論が展開できました。そのため、是非これを施設運営に活かす「声」として届けられればと思います。そして、この活気あふれるネットワークの輪が、より広く展開していくことを願っております。